



九十周年を迎えました

東教育財団だより

発行所
公益財団法人
東教育財団
大阪市中央区南本町
2-2-11 堺筋本町
西尾ビル6階
電話06(6262)7363
発行責任者 井上俊夫

東教育財団は、大正一四(一九二五)年三月二七日、民法第三四条の規定に基づく財団法人として設立され、平成二七(二〇一五)年に九〇周年を迎えました。
その記念祝賀会が、平成二七年三月六日(金)午後二時三〇分から、ヴィアール大阪において、関係者約六〇人が出席して開催されました。



富樫審査理事

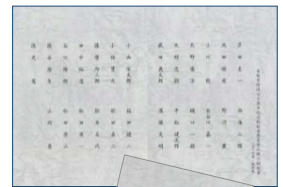
祝賀会は、記念事業実行委員会副委員長の富樫審査理事の司会で始まり、冒頭、財団設立七〇周年記念物故者慰霊祭を開催した平成八年一二月以降の物故者に対し、そのご遺徳を偲び、ご労苦に感謝して、黙祷を捧げました。

「設立九〇周年を迎え、新生公益財団が、これからも飛躍し発展するためには、設立に関わった方々の思いや、それを受け継ぎ、守り、育ててきた諸先輩の努力の跡などを振り返り、そのような歩みを重ね今の財団があるということ、役員、評議員及び関係者の全てが理解し、認識を共通することが、これからの財団の飛躍・発展につながる」と信じます。」



横野理事長

続いて、主催者を代表して横野理事長が概要次のように挨拶しました。



(物故者名簿)

そして開宴となり、清水コミュニティ協会中央区支部会長の乾杯の音頭で祝宴を始めました。



清水コミュニティ協会中央区支部会長

「女性に参政権がない大正末期にいち早く女性教育の重要性を認識し、東女学校を開設し助成した財団関係者の先見性に驚きました。」

その後、来賓の柏木中央区長から概要次のようなご祝辞をいただき、出席者一同感銘を受けました。



柏木中央区長



B テーブル



A テーブル



E テーブル



D テーブル



C テーブル



G テーブル



F テーブル



梅本理事

予定していた時間となり、最後に梅本理事から出席者にお礼を申し上げ、祝賀会を閉じました。



「高砂」山本能楽堂

祝賀会の締めくくりとして、徳井町にある山本能楽堂様に、財団設立九〇周年を寿ぎ、「高砂」を演じていただきました。

役員録		年表	
氏名	職名	年	出来事
梅本 隆	理事長	1980	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1981	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1982	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1983	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1984	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1985	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1986	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1987	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1988	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1989	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1990	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1991	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1992	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1993	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1994	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1995	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1996	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1997	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1998	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	1999	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2000	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2001	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2002	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2003	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2004	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2005	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2006	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2007	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2008	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2009	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2010	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2011	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2012	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2013	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2014	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2015	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2016	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2017	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2018	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2019	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2020	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2021	東教育財団設立
梅本 隆	理事長	2022	東教育財団設立



東教育財団九〇年の歩み
財団九〇年の歩みを写真と文章で振り返り、それを年表にも取りまとめ、歴代の役員・評議員を一覧表にして紹介しています。



九〇周年記念式典に先立ち開催された財団理事会・評議員会において、平成二七年度の事業計画及び予算案が審議されたが、その概要は次のとおりである。

平成二七年度

**事業計画及び
予算の概要**

平成27年度事業計画

1. 助成事業

① 助成対象となる団体

・大阪市内に所在する学校教育法第1条に規定する学校(私立学校を除く)、並びに、社会教育活動、生涯学習活動及び文化活動を行う団体

② 助成対象となる事業

- ・学校教育事業助成 … 大阪市中央区内の学校教育の充実・発展に寄与する事業
- ・社会教育・生涯学習事業助成 … 大阪市中央区内の社会教育や生涯学習の充実・発展に寄与する事業
- ・地域文化事業助成 … 大阪市中央区内の地域文化の振興に寄与する事業

2. 広報啓発事業

・「東教育財団だより」の発行 … 財団の事業と大阪の文化・歴史などを紹介(年4回)

平成27年度収支予算

科目		金額	備考	
収入	経常収益計	38,330,000	基本財産利息(3,832万) 受取利息収益(1万)	
	経常費用計	39,218,000		
支出	内訳	① 事業費計	28,073,000	
		支助助成金	23,000,000	学校(990万) 社会・生涯学習(660万) 地域(650万)
		その他	5,073,000	
		② 管理費計	11,145,000	
差引	当期経常増減	△888,000		

大阪歴史(迷) 探訪

— なにわともあれ —

今から一五〇〇年以上も昔の大阪は、上町台地が半島のように突き出ており、その東は古くは河内湾で河内潟から河内湖へと変化し、その西には、大阪湾の波が打ち寄せていた。



河内湖(旧)の時代 (5世紀頃)

その地勢から日本最古の国際交流都市として栄え、大化元(六四五)年には日本初の都市計画を伴った政治都市(前期難波宮)となった古代の大阪は「なにわ」と呼ばれていた。

「なにわ」は『日本書紀』(第三巻・神武式)の「方二難波之崎二到ルトキ、奔キ潮有リテ太タ急キニ会ヒヌ。因リテ以テ、名ツケテ浪速ノ国ト為ス。亦浪華ト曰フ。今難波ト謂フハ訛レルナリ」が語源だとされる。

「なにわ」を広辞苑でひくと、漢字で「浪速・浪華・難波」と表記し、「今の大阪市及びその付近の古称」と解説する。

「浪速」は、区名「浪速区」に使われる。浪速区には大相撲春場所が開催される大阪府立体育会館が所在し、浪速と書くとは何か「浪速のロッキーマン」こと赤井英和や亀田三兄弟の名が浮かび、汗が迸る感じがしてしまふ。

「浪華」は、古くは昭和一一(一九三六)年、溝口健二監督のトキキ映画『浪華悲歌(えれじい)』に使われたが、今では「浪花」である。浪花は「浪花節」に残っており、また、歌謡曲の題名や歌詞によく使われ、どこことなく人情味を帯びてくる。

「難波」は、故山根徳太郎博士が発掘調査した「難波宮跡」に残り、今、史跡公園として整備されている。また、橋名「難波橋」にも使われ、ライオン橋の通称で親しまれている。

また、難波は町名や神社の名称にも使われる。中央区には「難波一〜五丁目」「難波千日前」が、浪速区には「難波中一〜三丁目」があり、中央区博労町には「難波神社」が所在するが、これらはいずれも「なにわ」ではなく「なんば」と読む。なお、博労町辺りは昔「上難波」と称せられていた。

日本初の私鉄・南海電車や市営地下鉄の駅名も「なんば」であり、この辺りは昔「下難波」と称せられていた。

平仮名書きの「なにわ」は、大阪市内の車のナンバープレートに使われている。「なにわナンバー」が使われ始めたのは、昭和五八(一九八三)年からで、それまで大阪府内は「大阪」と「和泉」の二つであった。

車が急増し、大阪・和泉の両方にまたがる大阪市内を独立させることになり、何と名付けるかが問題となった。原則は「神戸」や「奈良」のように、登録事務所所在地の自治体名であるが、「全国的に名が通っているが、漢字表記では何通りかある」との理由で「なにわ」に決まったという。これが実在しない自治体名で平仮名書きという、珍しいナンバープレートの誕生秘話である。

ときには片仮名書きの「ナニワ」も使われる。青木雄二作『ナニワ金融道』がその代表例で、これがあまりにも有名で「ナニワ」には「いかつい」というイメージを持ってしまふ。

なにわともあれ、表記の仕方によつて雰囲気(ニュアンス)が違ってくることを、皆で楽しめばいいと思ふ。

(榎野 勝 ・ 記)

*このコラム欄への投稿を募ります。テーマは「おおさか」です。一五〇〇字程度でお願いいたします。